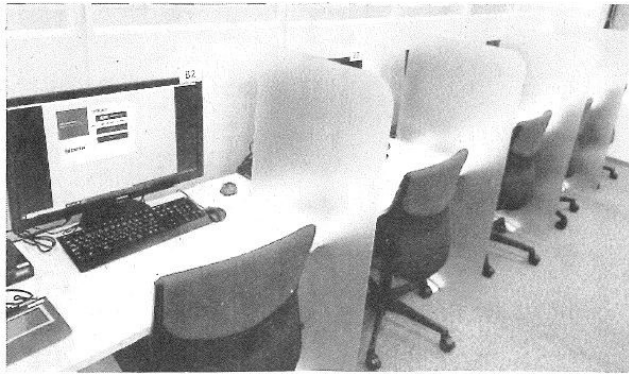


家電製品協会  
認定センター

# 認定試験にCBT方式導入

## 9月7 20日 全国260以上の会場で



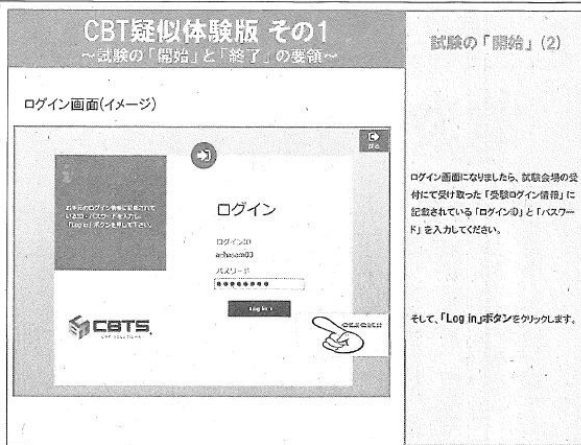
〈写真1〉テストセンター内の受験用パソコンデスク

「スマートマスター」「家電製品アドバイザー」が企画・運営している「家電製品協会認定センター」が、9月の認定試験も影響を受け、受験申請開始時期の順延を余儀なくされてきた。第一線が、認定センターは、受験者の安全確保と安定した試験開催などの観点から、かねて検討を進めていた「CBT (Computer Based Testing) 方式試験」を導入する方針を決めた。

試験日は9月7〜20日。8月10日から受験申請の受け付けを開始しており、31日に締め切る。

従来は大型の会場で実施された試験は新型コロナウイルス感染症に配慮して、従来は大型の会場で実施された試験は全

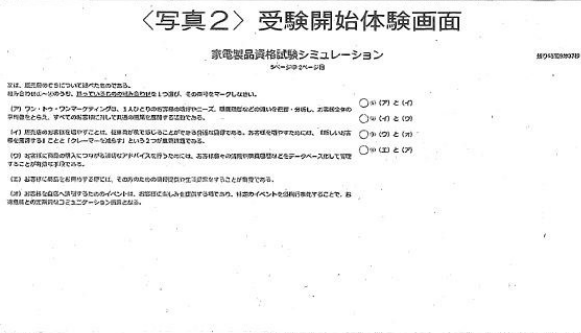
国延べ約50の大型試験会場が実施してきた。CBT方式はコンピュータを活用した試験で、全国に260カ所以上ある試験場(テストセンター)を使い、受験者が都合に合わせて受験地や受験日時を選択できる特徴がある。テストセンターは受験者以外に入らず、その



〈写真2〉受験開始体験画面

全国各地に分散しており、交通の便の良い場所に配置されていて受験者にとって利便性が高い。

センター内は、受け付けと、受験用のPCデスクが配置された受験室に分かれている。試験中の受験室には受験者以外に入らず、その



〈写真3〉受験体験画面

境にある。テストセンターは他の機関の試験でも利用されており、受験用のPCデスクの空き状態を調べて予約をする。受験日時の変更も可能。

森拓生センター長は「受験意欲が高まり、16年9月の試験以来、毎回1万人超が受験している。CBTの導入で有資格者をさらに増やしていきたい」と話す。

疑似体験版を掲載

新試験方式を導入するに当たり、認定センターでは試験の流れの疑似体験版として、その1「試験の『開始』と『終了』の要領」(写真2)、その2「試験問題サンプル」(写真3)を掲載している。

いずれの資格も家電産業を支える貴重な人材育成事業であり、さらなる発展を期待したい。